

名古屋市立二城小学校での出前講座実施報告

名古屋自然保護官事務所は、6月6日に名古屋市立二城小学校にて出前講座を実施しました。

4年生2クラスを対象に、藤前干潟の役割や生きもの、漂着ごみの問題を知ることを通して、環境保護の必要性に気付くことを目的に総合学習の時間で講座を実施しました。

講座の内容は、藤前干潟の特徴と生息する多様な生物の紹介、干潟が守られた経緯、漂着ごみの問題と現状です。今回も干潟の泥や生きものを持参して触れてもらい、体感してもらいました。普段あまり目にすることの無い生きものを見て触って、皆さんは夢中になっている様子でした。

たくさんの生きものが住んでいる藤前干潟ですが、過去にごみ処分場として埋め立てられそうになった経緯や市民が行政に干潟が守られるように働きかけたことも説明しました。

埋め立てから回避された現在でも、川や海からごみが藤前干潟にたくさん流れ着き、干潟の生きものに影響を与えていることも実例を交えて紹介しました。今回は藤前干潟に実際に漂着したごみ（ライター、釣り具など）を持参し、間近で観察してもらいました。

この後、皆さんはごみを減らすためにどうすればよいのか、干潟を守る為に自分たちに何ができるのかを考えるそうです。藤前干潟の漂着ごみの説明を受けて、次週予定されているごみ拾い活動への意欲が高まったのではないのでしょうか。



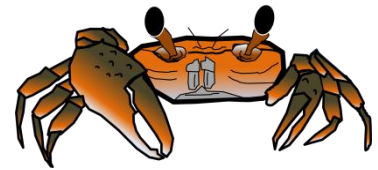
講座の様子



生きものと触れあう様子

◆実施概要◆

実施日：平成26年6月6日（金）9:35～11:25
 場所：名古屋市立二城小学校（守山区）
 対象：小学校4年生（2クラス、計74名）
 対応：名古屋自然保護官事務所職員2名



◆講座の内容◆

テーマ	藤前干潟の生き物と自然
1.	「ひがた」ってなに？ ・何からできているのか、どこにあるのか？ ・干潟の不思議な特徴
2.	干潟に住む多様な生き物たち ・貝類、カニ類、鳥類の紹介
3.	干潟が埋められそうになった
4.	藤前干潟の悩み ・ごみの被害者 ・干潟に流れ着くたくさんのごみ
5.	まとめ

2014年6月12日

名古屋自然保護官事務所
 アクティブレンジャー 上野淳一